

《11月から中学校で給食がスタート》

我々会派は予算に対する要望の中で、「中学校に牛乳だけでなく普通給食の導入」を以前より要望してまいりましたが、いよいよ今年11月から中学校給食がスタートします。

市が実施したアンケート結果によると、中学校給食について、小学5年生の保護者は「毎日利用したい」が46.8%、「週2~3回利用したい」が30.9%となっており、「利用しない」との回答は5.0%でした。

一方、中学2年生の保護者は「毎日利用したい」が36.3%、「週2~3回利用したい」が27.2%となっており、「利用しない」との回答は10.4%でした。回答結果からも多くの保護者が給食の実施を望んでいることがわかります。



ランチボックスで
お届け

給食費
1食 330円 (予定)

完全給食を提供
総エネルギーは 820kcal

アレルギー対応食

前払い
自動引き落とし

事前予約「スマホ・パソコン
マークシート」利用

《通院医療費の無料化を中学3年生までに拡充へ》

現在、鎌倉市の小児医療費助成制度は、小学生以下の通院・入院と中学生の入院に対して助成対象（小学生以上には所得制限あり）となっておりますが、松尾市長が1月4日の会見において、子どもの通院医療費の無料化を中学3年生までに拡充する考えを示されました。

助成対象	助成範囲	所得制限の有無
0歳～小学校就学前	通院・入院	所得制限なし
小学校1年生～小学校6年生	通院・入院	所得制限あり
中学校1年生～中学校3年生	通院 ・入院	所得制限あり

会見で示された新たな助成範囲

子育て世帯の負担を軽減し、子供たちが安心して必要な治療を受けられるようにという思いで小児医療費助成の充実を求めてまいりました。

「子どもが育つまち」の実現に向けて、まち全体で子育てを応援し、子どもたちが住み続けたいと思える環境づくりを引き続き取り組んでまいります。



ひなた新聞 24号



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート

1983年6月9日 生まれ (33歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

観光厚生常任委員会委員長。腰越在住。



昨年は沢山の方々と出会う機会に恵まれた一年となりました。この出会いをきっかけに皆様との「縁」をさらに大切にしていきたいと思います。

今年の抱負

人との対話を大切に、伝えるだけでなく伝わることを意識して、皆様と手をとり合って、日々目標を持って行動してまいります。

●12月議会報告

- ・「産後ケア事業に対する補助金についての陳情」総員賛成で採択
- ・ごみ収集量の見込みについて

- ・国道134号線道路擁壁改修工事の遅延
- ・11月から中学校で給食がスタート
- ・通院医療費の無料化を中学3年生までに拡充へ

クリーン&ガーテニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分

腰越駅集合(雨天中止)

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。



☆スケジュール☆

第46回:1月21日

第47回:2月18日

第48回:3月18日

第49回:4月15日

:

●産後ケア事業に対する補助金についての陳情 採択

【陳情の要旨】

- ①本市の産後ケア事業に、無料クーポン券等の補助制度を導入すること
- ②補助制度については、出産後4ヶ月未満の子育て中の全ての女性を対象とすること



産後ケア事業については、国が平成27年度から進める「地域子ども・子育て事業」の一つであり、県内では、横浜市、川崎市、横須賀市で対象者に対する支援を実施しているとのことです。鎌倉市の現状は、市内の二つの産科医療機関において産後ケアが実施されているものの、利用料の全額が自己負担となっております。

このような状況であるため、先行事例等を踏まえながら、鎌倉市の第3期基本計画後期実施計画(平成29年度～平成31年度)の中で利用者への支援を実現できるよう検討していきたいということです。まずは何が不安なのか、困っているのか等をしっかりと把握し、産後ケアに対する支援のさらなる充実を図っていただくことを求めました。

本会議において採択（総員賛成）

後期実施計画では、策定方針の中で「子どもが育つまち」の実現を掲げております。子育てを通じて、ご近所、地域が自然とつながっていき、産後ケアのみならず、産前から継続する形でのケアの実現へ向けて取り組んでまいります。

●ごみ収集量の見込みについて

・ごみ有料化 効果継続



家庭系燃やすごみは、平成27年度において、有料化により8%の収集量の削減を見込んでいましたが、約16.5%の大幅な削減となりました。平成28年度も引き続き皆様のご協力により、平成27年度とほぼ同じ収集量となっており、削減の効果が継続されております。

また、家庭系ごみ質組成調査において、有料化実施前後で燃やすごみの資源物混入割合が平均約25%から約13%に減少しております。

しかしながら、地区により数値に差があり、混入率が高いところも見受けられるため、今後は分別の品目を写真等によって具体例を解説し、よりわかりやすい分別ルールの周知を図っていくことが必要です。

ごみ収集量の状況（10月までの実績値）

	収集量							
	家庭系				事業系			
	平成27年度	平成28年度	削減量(t)	削減率	平成27年度	平成28年度	削減量(t)	削減率
4月	1,561	1,626	-65	-4.16%	895	909	-14	-1.56%
5月	1,741	1,785	-44	-2.53%	948	962	-14	-1.48%
6月	1,620	1,607	13	0.80%	914	924	-10	1.09%
7月	1,696	1,660	36	2.12%	920	932	-12	-1.30%
8月	1,767	1,769	-2	-0.11%	971	1,009	-38	-3.91%
9月	1,697	1,688	9	0.53%	898	918	-20	-2.23%
10月	1,610	1,597	13	0.81%	904	909	-5	-0.55%
小計	11,692	11,732	-40	0.83%	6,450	6,563	-113	-1.75%

平成28年度の家庭系・事業系ごみ合計収集量は30,854トン(平成27年度:30,984トン)を見込んでいるとの報告がありましたが、引き続き「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指し、ごみの減量と資源化に積極的に取り組んでまいります。

《国道134号線道路擁壁改修工事の遅延》

現在工事中の中央区(七里ガ浜から腰越)の工事について、擁壁工事の方法の一部変更となり、作業効率が下がったため工事に遅延が生じたとの説明がありました。



当初は平成28年度末(今年の3月末)に完成予定でしたが、6ヶ月程度遅れるとのことです。

そのため、当該区域の整備の中で行われる鎌倉高校前交差点の右折レーン設置についても、完成は平成29年度秋頃(今秋)となります。神奈川県から工程の精査等、詳細な報告が公表され次第、周知等に努めてまいります。

住所：鎌倉市腰越3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ：<http://ameblo.jp/hinata-shingo/>

メール：hinata.shingo@gmail.com フェイスブック：日向慎吾

ツイッター：@HinataShingo インスタグラム：hinata.shingo



討議資料